

軍事機密

スミエニ書作分第三號

第二十五軍憲兵隊命令

フクヘン  
五



一 軍ハ情勢ノ変轉ニ備ヘ作戰地域内ノ警備ヲ強化セラル

二 當隊ハ軍ノ警備強化ニ即應シ島内治安確保ノ全キヲ期セントス

三 各分隊ハ所在兵團又ハ防衛担任部隊ニ密ニ協力シ治安情報ノ收集及治安ノ確保ニ遺憾ナキヲ期スヘシ

四 細部ニ関シテハ別ニ指示ス

又マトラ憲兵隊長 平野豊次

下達去 要旨覽報後印刷配布

配布先 隊下甲、乙、

報告先 富

1431

ス憲作命第三號ニ對スル細部指示

一 防衛計画ニ基キ自隊警備ヲ嚴ニス、派遣所、詰所ハ  
情況ニ應シ所在防衛部隊ニ入ラシム

二 治安ノ確保ハ主トシテ主要都市ニ重点ヲ指向スルモ、其ノ他情報

ノ収集ニ當リテハ特ニ優秀密偵ヲ確實ニ掌握スルニシテ

③ 住民中華僑、混血人印度人及第三國人ニ對シテハ特ニ其ノ動向

ニ注意スルモトス、但シ第三國人ニ關スル事象ノ處ニハ本

部ノ指示ヲ俟ツテ行フモトス

四 各々管内治安ノ不良地域ニ對シテハ速カニ優秀密偵ヲ潛入

セシメ動向監視ニ努ムヘシ

五 軍ノ重要施設及物資収集所等ニ對スル民衆ノ襲害ヲ未

然ヲ防止スル為所屬諸廠ト密接ニ連繫シ情報ノ収集ニ

遺憾ナキヲ期ス

六 一般住民ニ對シテハ飽達日本ニ協力スル如ク指導シ現地

有力者ヲ掌握シテ治安確保ノ補助ヲラシムコトニ努ム

⑦

要檢束者ハ特別ノ事象ナキ限り之ヲ檢束セス

ハ民族相互ノ軋轢ニ対シテハ止ムヲ得サル場合ノ外武力ヲ用

ルコトナク之カ鎮壓ニ努ムモ日本軍ニ反抗及日本人

対スル迫害事象及掠奪其他惡質事犯ニ対シテハ断

乎タル處置ニ出スルモノトス

此場合ニ於テモ指示ヲ受テ得ル場合ハ指シテ受クヘシ

九、現住民軍隊ニ対シテハ所在兵團又ハ防衛担任部隊長、

意圖ノ下ニカ叛乱防止ノ為現情報網ヲ動員シテ内部

情報ノ収集ニ努メ未然防止ニ遺憾ナキヲ期ス

ハ警察其他ノ民衆武装団体ニ対シテハ州警務部ト密接ニ

連繫シ叛乱陰謀ノ餘地ナカラシム

- 二 邦人ノ保護ヲ主トシ要スレハ密偵家族及親日現住民ニ  
 對スル迫害防止ノ多部隊及州政廳ト連繫協議シ  
 適當ナル保護手段ヲ講スルモノトス
- 三 軍ノ眞面目ヲ發揮シ森嚴ナル軍紀ヲ保持スルタメ  
 部隊長ノ軍紀保持ニ密ニ協カス
- 四 警察務執行ニ方リテハ常ニ冷静ヲ保持シ軍人軍属  
 邦人ヲ初メ住民ニ對シテモ無意ニ精神的衝激ヲ興  
 フルガ如キコトナキ様持ニ留意スルモノトス
- 五 單獨服務行動ヲ禁止シ必ス二人以上ヲ以テ行動セシ  
 ムルモノトス
- 一六 各隊所共兵員ノ私物品ヲ整理シ轉進準備ヲ完了ス  
 分隊長、分遣隊長ハ携行物ニシテノ檢査ヲ實施スルモノトス
- 一七 書類ハ人事功績暗號等必要最小限ニ殘置シ日  
 常服務ニ關スルモノハ全部焼却ス陣營具類ハ其外

保管スルモノトス

一八

謀略用資材ハ之カ保管ヲ嚴ニシ他ノ地点ニ領託シテ

ルモノアラバ成ルヘク一括保管スル如クス處分ノ時救ニ關シ

テハ分隊長ニ於テ判断シ確實ヲ期スルモノトス

一九

沉着冷静事ニ處シ憲兵ノ行動ニ依リ徒ニ往氏ヲ刺

戟シ入心ヲ動搖セシメ却テ騒動ヲ若起スルカ如キ

コトナキ様充分注意スヘシ

極秘

東南作命第一六號

東南地區隊命令

八月十九日

一 東南地區隊ハ状況ニ應シ陣地構築對戦車隊

ヲ除ク作業ヲ中止セントス

二 各隊及吉田土木課長ハ作業ヲ中止スベシ

三 衛生局長ハ陣地構築隊本部ノ救護所

ヲ撤去スベシ

四 防衛班長ハ土主器具ヲ整理檢納スベシ

東南地區隊長 中嶋 鐵 威

1436

下  
定  
先

各  
部  
局  
中  
分  
州  
救  
土

岸  
音  
口  
建  
後  
印  
刷  
配  
布

1437



軍事機密

分遣隊迄配布

スモトラ憲作命令第二四號

第二十五軍憲兵隊命令

ニコ、ナ、ギ

天嶺

一 大命ニ基キ第二十五軍司令官ヨリ即時戦闘行動ヲ

停止ヲ命セラル

二 當隊ハ奉命必謹血涙ヲ吞ニテ即時戦闘行動ヲ停

止セントス

三 各分隊長ハ速カニ戦闘行動ヲ停止シ其日時ヲ報告ス

一三

細部ニ関シテハ別ニ指示ス

1438

第二十五軍憲兵隊長平野豊次

下達法  
配布先  
報告先

要旨電報後印刷配布  
隊下甲、寫乙  
富

1439

スヨトウ憲作命第二四號ニ関スル細部指示

一 対敵情報網其他住民ニ対シ實施シアル總テ、対敵工  
作ハ之ヲ放棄シ其活動ヲ停止セシムヘシ

二 前項以外軍ノ安全ヲ保持スルタメ必要ナル情報収集手  
段ハ之ヲ存續スルモノトス

三 目下捜査又ハ取調中ノ者ハ軍法ニ関スルモノヲ除キ速カ  
ニ嚴戒釋放スヘシ

四 敵側ノ行動ニ対シテハ總テ所在兵團長、防衛隊長ノ指  
示ニ基キ行動スヘシ

五 謀略資料ハ速カニ處分スヘシ  
六 飽造皇軍ノ矜持ヲ保持シ有終ノ美ヲ發揮スヘク部  
下ヲ指導シ益々團結ヲ強化スヘシ

1441

軍事機密

富作命甲第七三五號

富集團命令

八月十九日  
アキニ  
キ

~~五~~ 寫

一六命ニ基キ第七方面軍司令官ヨリ戦闘行動ノ停

止ヲ命ゼラル

ニ軍ハ奉命必謹血涙ヲ吞ンデ即時戦闘行動ヲ停止セ

トス

三各兵團各部隊ハ速カニ戦闘行動ヲ停止スベシ

別命スル迄敵側ニ直接交渉スベカラズ

四各兵團長及各防衛隊長ハ戦闘行動ヲ停止セバ其

一日時ヲ速カニ報告スヘシ  
五、細部ニ関シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

富集團長 田辺盛武

下達法 電報又ハ筆記若クハ印刷配布  
配布先 各兵團、各部隊

軍

スゴトラ憲作命第二六號

第二十五軍憲兵隊命令

ニウハニ  
グキサンギ

福岡

當隊ハ軍命ニ基テ離島駐屯部隊配屬憲兵並ニ治安

保持ニ支障ナキ限リ分遣隊以下(除クビルマ  
タルシヤンタル

シヤンビーベンクレーン各分遣隊)ヲ撤收集結セントス

ニ各分隊長ハ分遣隊以下ノ兵力ヲ分隊(分遣隊)ニ

集結スヘシ

細部ニ関シテハ別ニ指示ス

第二十五軍憲兵隊長 平野豊次

下違法  
既布先  
報告先  
隊下  
甲乙  
電報後印刷既布

スミトラ憲作命第二六號ニ関スル細部指示

- 一 撤收ハ所在部隊及邦人ト共ニ實施シ完了セハ報告スヘシ
- 二 集結区分別紙ノ如シ
- 三 兵器彈藥ハ之ヲ携行ス 但 押收兵器彈藥ハ住民ニ察知セラレサル如ク之ヲ處分スルモトス
- 四 成ルヘク分隊構内ニ集結スル可トスルモ 狹隘ナル場合ハ附近ニ場所ヲ選定スルモ可ナリ
- 五 經理關係事項ニ付テハ別ニ指示スルトコトニ依リ處置スルモトス
- 六 密偵ニ對シテハ良ク其ノ傍ヲ擣ヒ關係ヲ断ツモ 本人ノ希望アルカ又ハ必要アル場合ハ其ノ住居ヲ變更スル如ク處置



六  
備又以下ノ處置ニ関シテハ別ニ指示スルトコトヲ依ルヘシ  
ブルモットス

別紙

分遣隊以下ノ集結区分

集結場所	撤収部隊
クトラジマ分隊	ビルン分遣隊 <sup>反</sup> イシー派遣所ヲ除ク全部
ビルン分遣隊	イシー派遣所
バンカランプランタン分隊	隊下全部
メタン分隊	ペマタンシワタル分遣隊ヲ除ク外全部 (含ム第三班)
シボルカ分隊	タルトン分遣隊ヲ除ク外全部
パタン分隊	隊下全部
パカンバル分隊	レンガット分遣隊 マイルモレー派遣所ヲ除ク外全部

考	備											
一 未集結ノ分遣隊ノ分隊集結ニ関シテハ別ニ指示ス 二 各鐵道警護班全員ハ <sup>憲</sup> 兵補解除後分隊ニ復飯ス	テレグベトン 分 隊	クールイ 派遣所	バンクローレン 分遣隊	マナー 派遣所	ラハト 分 隊	ルブリングー 派遣所	ジャンビー 分遣隊	バシユパン ムアラゲンゴ 派遣所	パレンバン 分 隊	バンカ ジャンビー 分遣隊ヲ除ク外全部	アイルモレ 派遣所	レンガット 分遣隊

3

經理部係細部指示

現金示納簿ヲ除ク一切ノ書類ヲ燒却ス

二 金錢關係ハ從テハ通リ實施スルニ付支拂及決算ヲ迅速的確ニ實施シ返戻ノ絶無ヲ期ス

三 軍資金ハ從テ前通り極力節用ス但シ軍ノ生活ニ必要ナル衣糧資材ハ購買取得確保ス

四 衣糧資材倉庫ノ警戒ハナルベク速カニ實施ス

五 衣糧資材ハ補給ニ充當スル外不用品ニテモ主食其他購入ノ交換物資ニ充當セラルヲ以テ賣却ハ見合ハスヲ可トス  
六 各隊ハ貨物上殿及散寄部隊ト連絡ノ上衣糧資材ヲ確保スルト共ニ十三得ル限り各人ニ分配又ハ共用ス

從ツテ之等供用又ハ分配軍需品ノ使用管理ニ就イテハ特ニ注意シ濫用ニ陥ラシメサルコト

即ケ乗船飯國迄ニハ相當期間待期セザルベカラサルニ依リ濫用スレハ爾後ノ補充ハ不能トナルニ付承知セラレ度

七 將兵ノ私物ハ賣却シ預金トシ内地ヘ送金差支ヘナシ

但シ一人當リハ既預金ノ外三十円ノ程度ニ止ムルモノト其以上ノ處理ニ就テハ示サルノ筈

八 乗船待期中一地向ニ集結シ現地自汚ヲナスコトヲ顧慮シ

ナルベク多量ノ野菜・種子・農具・炊具等ヲ準備ス

從而分遣隊以下集結ニ方リテハ輸送ノ許ス限リ携行セシムルモノトス

一了

山宮作命用第ニ九八號其ノニ

近衛、生等ニ新團命令

八月二十四日ヨ...

一、軍ハ北スマトラ鐵道隊及北スマトラ船舶隊ヲハ

ニ、四日零時ヲ以テ予ノ指揮下ニ入ラシメラル

ニ、北スマトラ鐵道隊長及北スマトラ船舶隊長ハ依

然現任務ヲ續行スベシ

近衛第二師團長 久野村桃代

下達法 要旨電報後約副交付  
配布先 北ス鉄、東ス船、各部  
宛先 富

宮作命 甲第 四〇四號

近衛 第二師團 命令

八月二十五日 〇〇〇〇  
メダ ハ



一 軍ハ師團防衛地域内ニ在リ第三航空軍部隊又總軍直轄部隊ヲ予ハ指揮下ニ入ラシメラル

二 第一航空地區司令官ハ師團防衛地域内ニ在リ第三航空軍部隊ヲ指揮スベシ

三 各地區防衛隊長ハ防衛地域内ニ在リ總軍直轄部隊ヲ指揮スベシ

四 細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

近衛 第二師團長 久野村 桃代

不達法 要旨電報後 約副交付  
宛先 〇三三三 〇三三三 〇三三三 〇三三三 〇三三三  
類 〇三三三 〇三三三 〇三三三 〇三三三 〇三三三  
高

宮作命田等四口四號ニ基、參謀長指示

命令第一項、第三航空軍部隊並ニ總軍直轄部隊ハ成  
ベ、本折島毎ニ集結、上夫々第八航空地區司令官若  
各地區防衛隊長ノ指揮ニ入ルモノトス

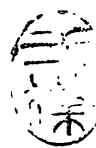
近衛第二師團參謀長岡田重美

1453



軍機機密

官作命甲第四〇五號



近衛第二師團命令

八月二十五日三〇〇  
ダ



加

一、各地區防衛隊及集成機甲隊ノ編成ヲ解ク

二、各部隊及各政廳（在留邦人ヲ含ム）ハ速カニ

別紙ノ地區ニ集結スベシ

各地區防衛隊長及集成機甲隊長ハ集結

ノ爲メ輸送ニ關シ舊配屬部隊ヲ區處スベシ

北スマトラ鐵道隊長ハ別紙運行計畫ニ依

リ鐵道輸送ヲ妥具スベシ



四、近衛輜重兵第二聯隊長ハ主力ヲ以テ先ヅ  
北、アチエ及、ビルン地区諸隊ノ輸送ニ協力  
スベシ

五、師團通信隊ハ各部隊集結間依然前任務  
ヲ續行スベシ

六、新各地區隊長ハ設營者（地區内各設營者  
連行）ヲ速カニメダン兵團司令部ニ差出スベ  
シ

七、細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

命令第四〇五號別紙

「テビンチンギ」地區

長 近衛歩兵第五聯隊長

近衛歩兵第五聯隊

北スマトラ鐵道隊

近衛輜重兵第二聯隊

近衛第二師團第一野戰病院

「リマプール」地區

長

近衛工兵第二聯隊長

近衛歩兵第四聯隊

近衛工兵第二聯隊

第二十五軍野戰兵器廠

第二十五軍野戰自動車廠

近衛第二師團第四野戰病院

航空部隊

クワラヂヤ憲兵分隊

東海岸州政廳

「キカロシ」地区

長 近衛歩兵第三聯隊長

近衛歩兵第三聯隊

近衛第二師團海上輸送隊

近衛第二師團衛生隊

「ブランダン」防衛隊

北「スマトラ」燃料工廠

東「スマトラ」船舶隊

離島船舶隊

「ブランダン」憲兵分隊  
「アチエ」州政廳

「シヤンタル」地區

長第十五野戰輸送隊長

師團司令部

近衛第二師團通信隊

第四十七兵站警備隊

近衛第二師團兵器勤務隊

電信第一聯隊第二中隊

第十五野戰輸送隊

第二十五軍野戰貨物廠

第十二防疫給水部

メダシ憲兵分隊

其、他、部隊

「シダマニック」地區

長 近衛野砲兵第二聯隊長

近衛搜索隊 主力

近衛野砲兵第二聯隊

セリブドロック 地区

近衛搜索聯隊 一部

タルトン 地区

タパヌリ 州政廳



近衛第二師團長 久野村桃代

下達法  
配布先  
報告先

要目口達(電報)後印刷交付  
 39c 16c 56c GK 29A 24P D/L 29P Kay S 46L 46L 50 47  
 8 8B 南航 M 2 2/3 軍抑 北不送 東人船 高島船  
 29A 達 35B 36B 37B 運 2/A 会 会 会 会 15 器 2/ 10 陸 九 根  
 富 各部

近衛第二師團長 久野村桃代

下達法

配布先

報告先

要目口達(電報)後印刷交付

39i 46i 56i GK 29A 29P D-1 29T Kay S 46L 46L 80 47<sup>△</sup> 7防(北陸)

8 FB 南航 M. 7. 7. 港 TK 軍抑 北へ海 東へ船 南島船

29A 達 35B 36B 37B 運 2/A 4/L 会 会 会 15 鷗 2/A 海 (10 陸 九根)

官 各 部

小宮作命甲第四〇五號ニ基ク參謀長指示

一、殘置集積軍需品及敵産物件等ノ監視引繼ノ爲所

要項

要ノ部隊並ニ引繼人員ヲ殘置スルモノトス

二、リマプール地區部隊ハ差當リ利用スベキ家屋ヲキ場

合ハ「キサロン」附近ノ家屋ヲ利用スルコトヲ得

右部隊ハ「キサロン」地區隊長之ヲ區處スルモノトス

三、兵器ハ左ノ通携行ス

ノ制式兵器全數（第四項ノモノヲ除ク）

2. 押收兵器全數（「ツルモン」、「メラボー」防ハ現在保管數）

三、彈藥類ハ小銃、輕機、機關銃ハ定數、其ノ他ハ半定

數携行シ品目數量ヲ報告スルモノトス

制式ハ全ク不明

押收兵器ノ彈藥ハ制式兵器ニ準ズ

爆藥火具類、對戰車爆藥類、夕、彈ハ全數携行

五、自動車類ノ燃料脂油ハ出來得ル限り多量携行

六、制式並ニ押收兵器中、築城、修理、其ノ他ノ關係ニヨ

リ移動困難ナルモノハ殘置スルコトヲ得

七、應急兵器中自活耕作ニ必要ナルモノハ携行

八、殘置兵器彈藥燃料脂油等ハ品目數量ヲ明瞭

要報

福中  
竹松

(元)

ナラシメ品目、數量、殘置場所（止ムヲ得ズ地方官憲

ニ監守ヲ依頼セルモノハ其ノ依頼場所、人名）ヲ報告

個人又ハ部隊ノ携行糧食ハ主トシテ主食、食塩、粉

味噌、粉、將、百、油、等ヲ優先携行ス

十 輸送不能ノ軍需品ハ努メテ賣却スルカ、債務相殺ニ

充當スルカ、或ハ鐵道従業員用トシテ北「ス」鐵道隊

邦人職員ニ交付シ、具ニ止ムヲ得ザルモノハ引繼書ヲ以

テ引繼フカ、又ハ原住民宣撫用ニ使用スルコトヲ得

一 敵産關係家屋、料器等ハ其ノ所在地、品種、員數

ヲ明確ニセル書類ヲ以テスルモノトス

借用物品ニアリテハ其ノ關係ヲ明クナラシメオクモノトス

借シテ十一項ニ就テ政廳側ハ軍政監ノ指示ニ依ルモノトス

⑬ 軍人軍屬ノ俸給ハ差當リ九月分ヲ念ハム三月分カラ

前金掛ス

260千

十三 使用目途ナキ共有金類ハ預金スルモノトス

⑭ 衛生材料ハ全部携行スルモノトス

輸送困難ナル場合ト雖モ平病用藥物ハ萬難ヲ排

シテ携行スルモノトス

~~五~~ ~~五~~

軍事極秘

シ地区命第一號

シヤンタル地区隊長命令

八月二十六日ニ。シヤンタル

一宮兵團ハ各地区防衛隊ノ編成ヲ解キ各部隊及政廳(在留邦人ヲ含ム)ハ速カニ別紙ノ地区ニ集結ス

予ハシヤンタル地区隊長ヲ命ゼラル

シヤンタル地区内集結各部隊ハ速カニ宿營位

置人員ヲ報告スベシ

三各部隊新宿營地設營ニ關スル事項ハ宮兵團司

シヤンタル

令部ニ於テ指示セニル

四 細部ニ關シテハ宮作命甲第四〇五號ニ基ク參

謀長指示ニ據ルベシ

第十五野戰輸送司令官 折田義一

下達法 印刷配布

配布先 24 DTL 47.5 吉 1 TL 40.0 吉 40.0 分 12 B0 10 座 橋 憲

報告先 宮兵團

1468-2



シシ地区命令第一號別紙

シヤンソル地区

長

第十五野戰輸送司令部官 折田大佐

近衛第二師團司令部

近衛第二師團通信隊

第四十七兵站警備隊

近衛第二師團兵器勤務隊

電信第一聯隊第二中隊

第十五野戰輸送司令部

特設自動車第十五大隊

獨立自動車第三百三中隊

特設自動車第十六中隊

第二十五軍野戰貨物廠

第十陸軍病院

第十二防疫給水部  
憲兵分隊

1470

軍機極秘

宮作命甲第四〇五號ニ基テ參謀長指示

一、殘置集積軍需品及敵產物件等ノ監視引繼ノ爲所要  
ノ部隊竝ニ引繼人員ヲ殘置スルモノトス

二、リマプル地區部隊ハ差當リ利用スベキ家屋ナキ場  
合ハ「キサロ」附近ノ家屋ヲ利用スルコトヲ得

右部隊ハ「キサロ」地區隊長之ヲ區處スルモノトス

三、兵器ハ左ノ通携行ス

一、制式兵器全數（第四項ノモノヲ除ク）

二、押収兵器全數（「キサロ」防ハ現在保管數）

- 四 彈藥類、小銃輕機、機關銃、定數其他、半定數携  
行シ品目數量ヲ報告スルモノトス
- 押收兵器ノ彈藥、制式兵器ニ準ズ
- 爆藥、火具類、對戰車爆藥類、彈ハ全數携行
- 五 自動車類ノ燃料、脂油ハ出來得ル限り多量携行
- 六 制式銃ニ押收兵器中築城修理其ノ他ノ關係ニヨリ移動  
困難ナルモノハ殘置スルコトヲ得
- 七 應急兵器中自活耕作ニ必要ナルモノハ携行
- 八 殘置兵器、彈藥、燃料、脂油等ハ品目數量ヲ明瞭ナラシ

×品目数量、設置場所（止ムヲ得ズ地方官憲ニ監守ヲ  
依頼セルモノハ其ノ依頼場所人多）ヲ報告

九 個人又ハ部隊ノ携行糧食ハ主トシテ主食食塩粉味噌  
粉醬油等ヲ優先携行ス

十 輸送不能ノ軍需品ハ努メテ賣却スルカ債務相殺ニ充  
當スルカ或ハ鐵道従業員用トシテ北「ス」鐵道隊邦人職  
員ニ交付シ眞ニ止ムヲ得サルモノハ引繼書ヲ以テ引繼ブカ又ハ原  
住民宣撫用ニ使用スルヲ得

十一 敵産關係家屋什器等ハ其ノ所在地品種員数ヲ明確ニセ

ル書類ヲ以テスルモノトス

借用物品ニテリテハ其ノ關係ヲ明カナラシメテモトス

但シテ(一)項ニ就テ政廳側ハ軍政監ノ指示ニ依ルモノトス

十二軍人軍屬ノ俸給ハ九月分ヲ含ム三ヶ月分ヲ前金拂ス

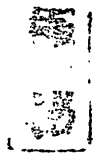
十三使用用途ヲ共有金類ハ預金スルモノトス

十四衛生材料 全部携行スルモノトス

輸送困難ナル場合ト雖モ平病用藥物ハ萬難ヲ排シテ

携行スルモノトス

意



宮作命甲第四〇九號 (宮作命甲第七四二號)

近衛第二師團命令

八月二十七日二二〇〇

近

一 近衛歩兵第五聯隊長、第十五野戰輸送隊長及第四十七兵站警備隊長、兵力集結命令ニ拘ラズ左記地點ニ將校ノ指揮スル約一分隊ヲ配置シ交通ノ確保ニ任セシムベシ

左記

近歩五 テビンチンギ

四七兵站 シヤンタル  
十五輸司 タルトン  
バラバト

二、細部ニ關シテハ參謀長ヲシテ指示セシム

近衛第二師團長 久野村桃代

下達法  
配布先

要旨口達後印刷交付  
59i 47<sup>h</sup> 15<sup>g</sup> 39i 46i GK 20A 26P 憲 北ス鐵 會 令 各部



官作命甲第四〇九號ニ基ク參謀長指示

一、配置兵力ハ所要ニ應ジ通過軍人軍屬ノ宿營給養ヲ擔任  
スルモノトス

二、配置兵力ハ適時主力ノ位置ニ集結シ得ル如ク所要ノ連絡  
手段ヲ準備スルト共ニ自動貨車等ヲ配置シ置クモノトス

近衛第二師團參謀長 岡田重美

第

富作命丙第二〇〇號

第二十五軍命令

六月三日一七〇  
フキナインヤ

各兵團長及リオ防衛隊長ハ左記要領ニ基キ兵  
器ヲ集結保管シ取合軍側トシ不測ノ衝突事  
故發生ヲ防止スベシ

左記

及各部隊

一治安警備ニ在スル部隊直接警戒ノ為メ人員以  
外ノ火器(火炮)又同齊集ハ一切速ク之ヲ閑  
係補給廠ニ返納シ輸送力其ノ他ノ關係上返  
納ニ時日ヲ要スルモノハ取敢ハズ部隊毎ニ集結  
保管シ之ガ監視警戒ノ處置ヲ講ス

2

1478

一 治安警備ニ在スル部隊及各部隊直接警戒爲ノ  
人員ニ携行セル火器ハ小銃又ハ拳銃(彈藥ハ  
五發以内)トス

古火器及彈藥モ亦別示ス日時ヲ以テ一切之ヲ前  
述ノ如ク處理スルモトス

但シ治安警備ニ在スル部隊(別示ス)及憲兵隊ノ  
携帶スルモノハ其ノ警備任務終了ノ時トス

軍軍行動時ヲ爲スベキ者ニシテ自衛上已ムラ得テ  
ルモノハ前項ニ準ジ兵器ヲ携行スルコトヲ得

一 將校ニ對シハ一般ニ現在所持セル拳銃又同彈藥ハ  
別ニ示ス日時迄之ヲ携行セルヲ置クコトヲ得

四 爆藥類特ニ手榴彈ハ一切之ヲ確實ニ返納ス

第二十五軍司令官

田邊 益武

五

六宮參電第七七二六號

六宮命丁第五七〇號 八月三十一日一五〇〇

隸下指揮下各部隊長(州長官)ハ左記要領ニ基キ兵器ヲ集結保管シ聯合軍則トノ不測ノ衝突事故發生ヲ防止スベシ

左記

一 治安救言備ニ任ズル部隊(憲兵隊ヲ含ム)及各部隊直接警戒ノ爲ノ人員並ニ自衛ノ必要上各自ニ携行セシムル火器ハ小銃又ハ拳銃(彈藥ハ一銃一挺 五發以内)トシ其他ノ彈藥ハ當該部隊毎ニ取纏メ置フモノトス

二 其他火砲火器同彈藥類一切(各集積所殘置彈藥ヲ含ム)

ハ速クニ兵器廠ニ返納ヲ準備スベシ

三 彈藥類及手榴彈ハ特ニ確實ニ返納スル如ク準備スベシ

四 返納迄取敢ヘズ各部隊毎ニ集結保管シ監視警戒ノ處置ヲ準備スベシ

四 將校ニ一取ニ現在保持シアル拳銃同彈藥ヲ携行セシメ置ク  
トヲ得

五 第一項火器彈藥モ亦一切之ヲ其ニ、其第三項ノ如ク處理スルニ  
其ノ日時ハ後命ス

通電先

36i 46i 56i 6K 20A 20P 20T 20U 20V 20W 20X 20Y 20Z  
☆ 十陸病 會 會 會 東海岸州 アチエ州 各部